

総合診療科

● スタッフ（2022年10月1日現在）

診療科長 平山 陽示
 医局長 宮島 豪
 病棟医長 安彦 壮一郎
 外来医長 畑中 志郎

医師数 常勤 13名
 非常勤 12名

● 診療科の特徴

成人初診患者（15歳以上75歳未満）で、受診科が明確でない方や二次救急初療を担当します。一般内科領域では当科で治療完結することもあります。必要に応じて専門各科に相談あるいは紹介します。外来診療では具体的に以下のような症例を診察します。

- ・ 診断がついていない
- ・ 一元的な説明がつかない
- ・ どの科に行けばいいかわからない
- ・ 他院、他科で診断がつかない症例
- ・ かぜ症候群、肺炎、軽度の腹痛等の一般内科領域

● 診療体制と実績

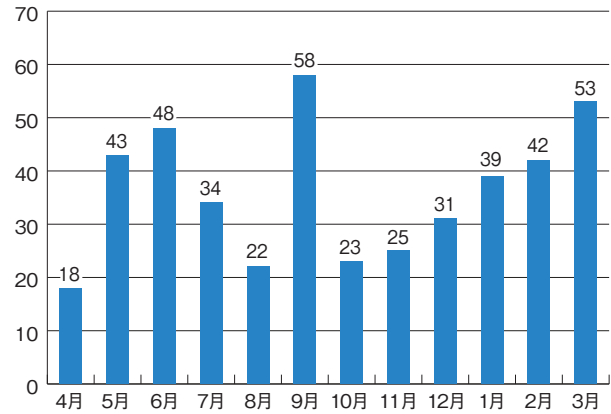
外来では、発熱を始め、全身倦怠感、疼痛などの局所症状に乏しい主訴や、上気道症状、腹部症状など、専門科への橋渡しを要す可能性のある主訴まで幅広く対応します。2020年以降は新型コロナウイルス感染症の症例も多く、感染症科と連携を取りながら診療しております。感染症以外でも確定診断後には、専門各科と連携を取るよう心がけております。以下に初診患者数の月別の推移を示します。

2022年度の入院患者数は受診者数の減少により23名と大幅に減少しました。入院患者の主たる病名はCOVID-19や市中肺炎、腎盂腎炎等の一般内科領域はもちろん、原発不明癌や不明熱などの精査入院まで多岐にわたりました。上記の数には含まれませんが、当科で精査入院して確定診断後、他科への転科症例も多く見られました。

アピールポイント

一般内科、一次救急、二次救急と、外来診療・診断・振り分けを主とする科です。入院数は少ないものの、不明熱、原発不明癌、非特異的感染症等、全身症状や一元的には説明つかない病態の診断に努めております。また、初期研修医の外来研修指導、専攻医の研修等、専門医育成等の教育にも力をいれて取り組んでおります。特殊外来として禁煙外来を併設しています。

(人) 2022年度 外来初診患者数



2022年度 入院患者疾患割合

